

マニア納得のデラックスな一冊!

高速有鉛

Vol.6 | 2008年
12月号

デラックス

国産車イベント
ALL ODDS NATIONALS

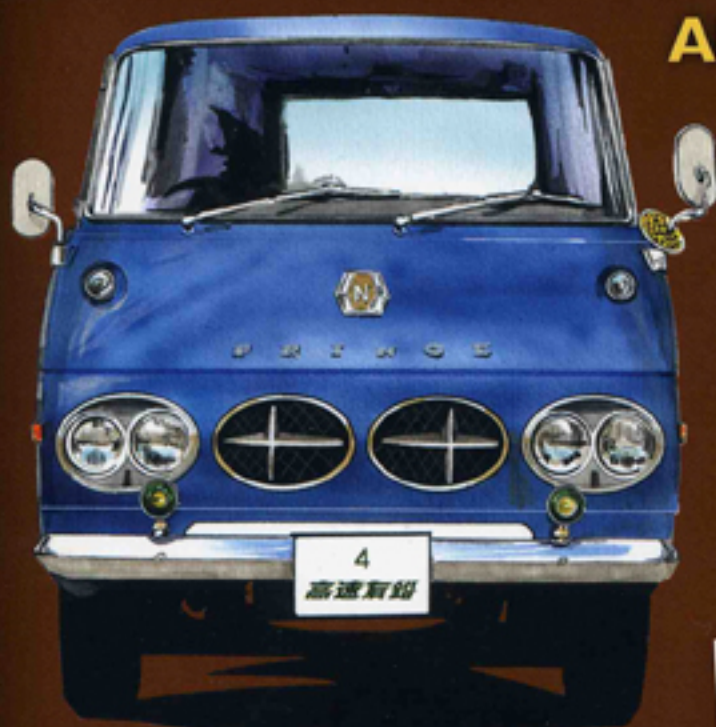
BANZAI JDM
日本海JDMレーサー

発掘!
430タクシー現役時代写真

あのクルマがいた
懐かしの風景

北米的旧車集団

THE WANDERERS



ニッサン プリンス クリッパー型貨物車



ダットサン 510型乗用車

ザ・対決

日産・ダットサン・プリンス編

Classic Automobile Road Show

集まれ! イカしたスチールバンパーのクルマたち



新たな旧車イベントが栃木県に誕生した。それが77シビックオートモービルロードショー、通称CARSC。オールドクラウンを中心に、旧車からアメリカ車まで取り扱うショップKEN AUTOMOBILEに集まるオーナーたちの手で主催されたもので、エントリー対象は昭和63年までに製造されたアメリカ的なクルマ。アメリカ車はもちろん、VWやトラックなどもエントリー対象となるが、主役となったのは国産旧車たちだ。真夏が戻ってきたかのような日差しが降り注ぐなか、会場には約160台のエントリー車たちが集まった。ラフなアワード授賞式なども行われ、手作り感のあるアットホームなイベントになった。参加者マナーのよさも、主催者たちの人柄あってのものだろう。来年も同時期に同場所での開催を予定している。北関東道のインターからのアクセスもいいので、遠方の人にも是非参加されたし!

① ロ〜ングディスタンスウ!



神戸から700kmの距離を自走エントリーの重兵衛茶屋「さかやん」さんは、もちろんロングディスタンス賞を獲得。ガワはヤレているけどクルマは絶対派だった様子。確信犯やーん!

② 不名誉な? 高速有鉛アワード!



完璧なるショーカーウーダに、高速有鉛アワードが渡されたスラムドのMAZDA R2600...「えっ、次のショーでコレつけろって、なんか嫌がらせかい?」と怒ってはいませんでした。キッ!

③ 六花ちゃんデビュー!



「高速有鉛ガール」としてフリーペーパー第6号に登場のヨーコちゃんと六花ちゃんもエントリー。このイベントで最高の栄賞(?)である「チーム蓮田」アワードを獲得。

④ べったりを支えるタイヤ



左ハンドルの北米仕様FS41L。ブリッとした断面形状や、ネウイトリボンの細さが、とっていい感じと思ったら、アメリカ製のグッドイヤー。オーナー氏が日本から通販で購入したそうです。

⑤ V8クラウンバン



バンに大排気量エンジンを搭載するコンセプトは、40年先のMS47ってところでしょうか。エアクリナーにノーマルを使用するなど、純正ライクな換装でウオリティアップ!

⑥大径履いてGo! GO! GO!



ノーマルボディをキープした軽自動車クラウンに、イマドキRoderで脚車連の大径ビレットが似合う。

⑨マスタング純正流用



安いMS105クラウンは、純正色よりも白さが際立つボディがレンジャー。足元はマスタング純正だ。

⑫プリランナーの風格



520よりもデカく見えるニッサンジュニア。車高を下げずにタイヤを新調して、迫力満点。巨体に似合わずエンジンは1.6のR型。

⑮旧車ショーカーの理想



デビュー時の美しさをキープし、各地のショーへ精力的に自走エントリーしてショーアップするSELF-ESTEEM号。

⑰デボネアの存在感"大"



エントリー車は車種別に展示されたため、デボネアがズラリと並ぶ光景は三菱系企業の役員駐車場のように、車高は低いけど。

⑦6.95-14の美しき立ち姿



MS50クラウンの純正サイズ6.95-14を履く。前後左右すべて銘柄違いで集めた「走るバイアスタイヤカタログ」だ!

⑩ボディカラーの勝利!



北米へ輸出されていないにもかかわらず、このアメリカ的な雰囲気は、ブルーメタリックのボディカラーという選択だろう。

⑬べったりバイオレット



710バイオレットはNAPSエンブレムが備わる最終型。純正ホイールキャップとタイヤは、オックリファンダーの内側に。

⑯「もしも……」な夢のビッグプロジェクト始動!



コロナビッグアップに、同時代のトヨタ1600GTのツインカム90Hユニットをブチ込んだ。これまでに妄想したマニアの数も500万人いると言われていたが、完成すれば夢の「トヨタ1600GTトラック」が現実のものになる。

⑱最強の爪鉄加工鉄チン



ワイド加工鉄チンを見たら、なんと爪鉄じゃありませんか。キャップをはめた姿を見たい。リム形状もナイス!

⑧6.45-14の凛々しい立ち姿



タクシー御用達の6.45-14バイアスを履くスリーパー。元の6.95-14よりも外径が大きいことに注目。

⑪ホイールキャップじゃないゾ



最終型型JZS130Gの足元はアメリカ中のホイールキャップのようなデザインだが、BSマンハッタンという名の高級車輪アルミだ。

⑭本当のハコスカ



セダンの後部を延長しただけのナルックスが当時のパンの勢力。ステージアも、R32をそのままワゴンにするだけで良かったのに。



来年もCARSをヨロシク!



CARS実行委員会スタッフの皆さま。暑い中、たいへん素晴らしいイベントを提供していただき、ありがとうございました。